

安全風土の醸成、沿線価値の向上、 環境保全の推進を通じて 「信頼のトップブランド」の確立を 目指します。



京王電鉄株式会社 代表取締役社長

永田正

鉄道の最大の使命である安全を確保すべく、 安全風土の醸成と施設改善を着実に推進します。

当社をはじめ京王グループのすべての運輸事業者は「『安全』は最大の使命であり、最高のサービスである」との方針のもと、事業を展開しています。

鉄道事業では、安全最優先の鉄道を創ることを目指します。昨年「安全に関する基本方針」と「安全に係る社員の行動規範」を改め、また、私の思い「新基本方針・行動規範策定にあたって」を添えて全社員に携帯カードを渡すなど、社員一人ひとりの意識の向上を図り安全風土の醸成に取り組んでいます。

一方、ハード面では、調布駅付近連続立体交差事業で、2014年度の事業完了に向け工事を進めることに加え、笹塚以西の鉄道立体化について、事業主体である東京都とともに手続きを推進します。

また、ATCシステム（自動列車制御装置）の全線への整備完了に引き続き、高架橋などの耐震補強工事、新宿駅へのホームドア設置工事を鋭意進めるなど、安全対策の強化に取り組んでいきます。



2012年11月 総合事故復旧訓練

持続的発展が可能な社会を目指して 環境マネジメントを推進します。

京王グループは持続的発展が可能な社会の実現を目指して、常に環境保全に配慮した事業活動を行っています。

鉄道部門では、2013年6月に開設した高幡不動の鉄道現業事務所において、トップライトや壁面緑化、太陽光発電システムなど環境に配慮した13種類の設備を採用し、従来に比べ約30%の省電力と節水に取り組んでいます。また、電車走行のエネルギー効率を高めるため、電力を有効に活用できる「回生ブレーキ」に加え、電車のモーターを効率よく動かす「VVVFインバータ制御装置」を1991年度から導入し、2012年10月に大手民鉄16社で初めて搭載率100%を達成しました。走行に必要な消費電力量は、これらの導入により約45%削減され、エネルギー効率の大幅な向上を果たしました。

開発部門では、東京都環境確保条例に基づき、大規模事業所を中心に空調や照明の高効率化などを積極的に実施した結果、2012年度はCO₂排出削減目標を大きくクリアしました。

グループ会社では、西東京バスが2013年3月にハイブリッドバスを導入し、五日市エリアおよび八王子市内で運行を開始しました。

今後もエネルギー使用削減をはじめとした環境関連法令を確実に遵守するとともに、資源の有効活用、自然環境の生物多様性保全を推進していきます。



2013年4月 高尾の森 第13回植樹祭

「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」を 追い求め続けます。

本年4月15日、おかげさまで京王線・路線バスは開業100周年を迎えました。これも沿線のお客様、その他関係者の皆様に支えられたおかげであり、厚く御礼申し上げます。

京王グループでは、沿線が将来にわたり活力を維持できるサイクルを作り上げるため、生活サポートサービスや子育て支援事業を積極的に進めています。

お買い物や家事代行、リフォームやホームセキュリティなど幅広くお客様のニーズにお応えする「京王ほっとネットワーク」では、新たなサービスとして2013年内に多摩ニュータウンエリアを中心に食料品などの移動販売を開始し、日常の買い物の利便性向上に取り組めます。また、実施に先立ち、地元自治体である多摩市と「地域発展の推進に関する包括連携協定」を締結しました。

10月には100周年を記念して「京王れーるランド」を子育てファミリーを中心に楽しみいただける施設に一新します。

東京都認証保育所「京王キッズプラッツ」では、地域の子育て世代支援に向けて、京王沿線で7カ所目となる「京王キッズプラッツよみうりランド」を2014年2月に開設する予定です。

京王グループはこれからも安心・便利で生き活きた沿線づくりに取り組み、「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」を追い求め続けます。皆様には、今後も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



2013年8月 包括連携協定調印式